

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
【発行日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【公開番号】特開2008-202201 (P2008-202201A)  
【公開日】平成20年9月4日 (2008.9.4)  
【年通号数】公開・登録公報2008-035  
【出願番号】特願2007-69448 (P2007-69448)  
【国際特許分類】

D 0 4 H 17/00 (2006.01)

【F I】  
D 0 4 H 17/00

【手続補正書】  
【提出日】平成22年3月25日 (2010.3.25)  
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

柱状の空洞を持つ合成樹脂製の容器に羊毛等の原毛を充填し、凹凸を持った針で突くことによって、繊維を絡み合わせ、その空洞の底面の形状を有したフェルト製品を作成することを特徴としたフェルト製品製作容器。

【請求項 2】

上記柱状空洞の横断面形状に様々な直径を持つ円、多角形、ないし星型、花卉型、ハート型等の図案を用いることによって、一定した形状のフェルト部品を安定して作成するために役立つことを特徴とした請求項 1 に記載のフェルト製品製作容器。

【請求項 3】

上記合成樹脂製の容器に透明ないし半透明の素材を用いることにより、フェルト化途中の段階で原毛の圧縮状態を把握し、安定した圧縮状態の製品を得ることができることを特徴とした請求項 1 に記載のフェルト製品製作容器。

【請求項 4】

上記柱状空洞の側面に目盛りを付けることによって、目標とする製品の厚みを一定にすることが出来ることを特徴とした請求項 1 に記載のフェルト製品製作容器。

【請求項 5】

柱状の空洞を形成した合成樹脂製の容器の上記空洞に羊毛等の原毛を充填し、凹凸をもった針で上記原毛を突くことによって、上記原毛の繊維が絡み合ったフェルト製品を作成することを特徴とする、フェルト製品作成方法。

【請求項 6】

上記容器は透明ないし半透明な素材を用い、かつ、上記柱状空洞の側面に目盛りを設けておく、請求項 5 に記載のフェルト製品作成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】発明の名称  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【発明の名称】フェルト製品製作容器およびフェルト製品作成方法